

2026年10月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年6月15日

上場会社名 株式会社軽自動車館

上場取引所 東

コード番号 7680 URL <https://keijidousyakan.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 章一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 佐藤 哲康 (TEL) 011-200-0312

中間発行者情報提出予定日 2026年7月15日 配当支払開始予定日 -

中間決算補足説明資料作成の有無 : 無

中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期中間期の業績(2025年11月1日~2026年4月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期中間期	2,373	—	46	—	39	—	27	—
2025年10月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整 後1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期中間期	524.66	—
2025年10月期中間期	—	—

(注) 1. 当社は、2025年7月25日開催の第27回定時株主総会において、定款の一部変更を決議し、決算期を毎年4月30日から10月31日に変更いたしました。これにより、2025年10月期は2025年5月1日から2025年10月31日までの6か月決算となっております。比較対象となる2025年10月期中間期の中間財務諸表を作成していないため、2025年10月期中間期の業績及び2026年10月期中間期の対前年中間期増減率につきましては、記載しておりません。

2. 2026年10月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年10月期中間期	1,566	286	18.3
2025年10月期	1,525	259	17.0

(参考) 自己資本 2026年10月期中間期 286百万円 2025年10月期 259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	0.00	0.00	0.00
2026年10月期	0.00		
2026年10月期(予想)		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年10月期の業績予想（2025年11月1日～2026年10月31日）

（%表示は対前期増減率）

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	4,838	—	80	—	65	—	42	—	813.95

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 当社は、2025年7月25日開催の第27回定時株主総会において、定款の一部変更を決議し、決算期を毎年4月30日から10月31日に変更いたしました。これにより、2025年10月期は、決算期変更により2025年5月1日から2025年10月31日までの6か月決算となっております。このため対前期増減率につきましては、記載しておりません。

※ 注記事項

- （1） 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 （2） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

（3） 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年10月期中間期	51,600株	2025年10月期	51,600株
2026年10月期中間期	—株	2025年10月期	—株
2026年10月期中間期	51,600株	2025年10月期中間期	—株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2025年7月25日開催の第27回定時株主総会において、定款の一部変更を決議し、決算期を毎年4月30日から10月31日に変更いたしました。これにより、当中間会計期間(2025年11月1日から2026年4月30日まで)に対応する前中間会計期間がないため、前年同期との比較は行っていません。

当中間会計期間(2025年11月1日から2026年4月30日まで)におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しやインバウンド需要の増加、企業収益の改善等を背景として、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、国際情勢においては、米国とイランの対立が再び深刻化し、中東地域の安全保障環境が一段と不安定化しております。特に、ホルムズ海峡周辺における軍事的緊張の高まりは原油供給の途絶リスクを顕在化させ、国際原油市場において価格の急騰と高止まりを引き起こしており、世界的なエネルギーコストの上昇を通じて各国の経済活動に広範な影響が生じております。わが国においても、原油価格の上昇が燃料価格の高騰を通じて物流コストを押し上げ、企業収益にマイナスの影響が生じております。また、円安基調の継続により輸入物価が上昇し、エネルギー・原材料価格の高水準が維持される状況において、企業活動を取り巻くコスト環境は一段と厳しさを増しております。さらに、食料品や日用品の価格上昇により消費者の負担増が生じ、購買行動には慎重姿勢が強まっております。また、日本銀行がマイナス金利政策を解除したことにより、今後の金利動向が企業の資金調達や設備投資に与える影響が注視される状況となっており、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済環境のなか、中古車販売業界におきましては、原油価格の高止まりを背景に燃費性能を重視する傾向が強まり、軽自動車等の実用車に対する需要が相対的に堅調に推移しております。また、物価高騰による消費者の負担増から価格志向が一段と高まり、比較的価格帯の車両が幅広い層で選好され、実用性と価格のバランスを重視する市場特性が一段と明確になっております。2025年11月から2026年4月までの国内軽自動車中古販売台数は1,502,278台(前年同期比100.94%)と前年実績を上回る結果となりました。

当社におきましては、仕入コスト上昇分を販売価格に反映させる施策を講じるとともに、経費削減を推進することで収益の改善に取り組みました。

以上の結果、売上高は2,373,239千円、営業利益は46,462千円、経常利益は39,447千円、中間純利益は27,072千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当中間会計期間末における流動資産は1,227,643千円となり、前事業年度末に比べ49,708千円の増加となりました。その主な要因は、棚卸資産が60,557千円増加したこと、現金及び預金が10,034千円増加したこと、売掛金が25,013千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産は338,894千円となり、前事業年度末に比べ9,092千円の減少となりました。その主な要因は、建物が4,128千円減少したこと、有形固定資産のその他が3,725千円減少したこと、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産が1,952千円減少したこと等によるものであります。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債は914,130千円となり、前事業年度末に比べ65,723千円の増加となりました。その主な要因は、1年内償還予定の社債が80,000千円増加したこと、前受金が28,757千円増加したこと、短期借入金が41,250千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

当中間会計期間末における固定負債は365,832千円となり、前事業年度末に比べ52,180千円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金が28,035千円増加した一方で、社債の1年内償還予定額80,000千円を流動負債に振り替えたこと等によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産は286,575千円となり、前事業年度末に比べ27,072千円の増加となりました。その要因は中間純利益の計上により利益剰余金が27,072千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年12月15日付「2025年10月期 決算短信」において公表いたしました2026年10月期通期の業績予想に変更ありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年10月31日)	当中間会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	133,049	143,084
売掛金	96,402	71,389
棚卸資産	908,044	968,602
前払費用	20,525	21,084
その他	19,911	23,482
流動資産合計	1,177,935	1,227,643
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	92,153	88,024
土地	120,761	120,761
その他(純額)	50,665	46,939
有形固定資産合計	263,580	255,725
無形固定資産	439	220
投資その他の資産	83,967	82,948
固定資産合計	347,986	338,894
資産合計	1,525,922	1,566,538

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年10月31日)	当中間会計期間 (2026年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	107,157	122,747
短期借入金	476,250	435,000
1年内償還予定の社債	—	80,000
1年内返済予定の長期借入金	60,108	70,524
リース債務	5,458	5,191
未払費用	41,489	39,126
未払法人税等	20,411	10,422
前受金	71,077	99,835
役員賞与引当金	—	636
賞与引当金	28,461	28,069
その他	37,993	22,577
流動負債合計	848,406	914,130
固定負債		
社債	130,000	50,000
長期借入金	223,292	251,327
リース債務	17,578	15,100
退職給付引当金	23,170	25,371
資産除去債務	21,397	21,458
その他	2,575	2,575
固定負債合計	418,012	365,832
負債合計	1,266,419	1,279,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,012	44,012
利益剰余金	215,490	242,563
株主資本合計	259,502	286,575
純資産合計	259,502	286,575
負債純資産合計	1,525,922	1,566,538

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年4月30日)
売上高	2,373,239
売上原価	1,901,267
売上総利益	471,971
販売費及び一般管理費	425,509
営業利益	46,462
営業外収益	
受取利息及び配当金	181
還付金収入	2,127
その他	449
営業外収益合計	2,758
営業外費用	
支払利息	8,521
社債利息	260
支払保証料	992
営業外費用合計	9,774
経常利益	39,447
税引前中間純利益	39,447
法人税、住民税及び事業税	10,422
法人税等調整額	1,952
法人税等合計	12,374
中間純利益	27,072

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。